

社 会 科

1 社会科の力をつける家庭学習方法

(1) 社会科に関する興味・関心を高めるための方法

テレビで、「外国に行ってみたいなあ」「こんなすごい時代があったんや!」と思わせる番組がたくさん放送されています。

例: 「世界ふしぎ発見」「世界の果てまでイッテQ!」「歴史秘話ヒストリア」「世界番付」「世界行って見たら本当はこんなところだった」など

テレビを見て面白かったなあと思うだけでは、力はずきません。番組に出てきた国の場所を地図帳で調べたり、生活や産業について資料集やインターネットで調べてノートにまとめていくと、社会科の幅広い力がつきます。

(2) 重要語句をきっちり覚えるための方法

社会科は、地理・歴史・公民と中学校3年間で幅広く学習するので、たくさん暗記しなければいけないというイメージを持たれやすいです。暗記が全てではないですが、必要な知識を習得していないと応用問題が解けません。

楽に暗記するには、「その日習ったことはその日のうちに復習」をするに限ります。「今日の授業で、大切だと言っていたことはどんなことがあったらう?」と思い出しながら復習しましょう。

例: 重要語句の説明をノートにまとめる。

オリジナルの重要語句集をつくる。→問題の出し合いを友達としてみよう。お家の方に問題を出してもらうのも良いですね。

セルフテストの実施→自分でテストを実施して間違えた語句を繰り返し覚える。

(2) 定期テストで得点力をつけるための方法

・地理

世界の地域ごと(ヨーロッパ州・アフリカ州など)、日本の地域ごと(近畿地方・九州地方など)の略地図の中に重要事項をまとめます。

地理は単語で覚えても得点力はあまりつきません。地図を立体的に見る（地図に気候・地形・産業などの情報を載せた図でイメージできる）ようになれば地理の力は飛躍的に伸びます。

ニュースを見て、外国の最新情報を知っておけば役に立ちます。

・歴史

歴史にも、「日本史」と「世界史」などの地域の違い、「文化史」「政治史」「貿易史」などのテーマごとの歴史と様々なジャンルがあります。その年表をしっかりと頭にイメージできる事が得点を取る上で非常に重要になります。オリジナルの年表を作っていくと整理しやすいです。

仏像、建築物などの写真も入試でよく出題されています。言葉だけでなく写真とセットで覚える工夫をしましょう。

・公民

政治・経済・国際経済の3つの分野に分かれています。3つの分野に共通するのは、組織図などの図を頭にインプットするのが重要だという点です。憲法や法の条文なども、重要だと言われたところはマーカーを引きノートにまとめておくと便利です。

公民の力をつけるのに1番重要な事は、ニュースをしっかりと見ること。授業で学習したことと、今、世の中で起こっていることのつながりを感じることができれば、公民の授業がどんどん楽しくなります。

(3) 定期テストのふりかえりをする方法

まず、ノートを1冊用意しましょう。それに、テスト直しをまとめていくと自分が苦手な問題だけが載ったオリジナル問題集が出来ます。

- ・間違えた問題を写す。
- ・自分の解答を書く（間違えた問題）
- ・正しい答えを書く
- ・間違えた理由を書く
- ・解説を書く

最初は、面倒だと思います。しかし、3年間継続してこれをする事ができれば絶対にかがつかます。

(4) さらに社会科を極めたい人の勉強方法

- ・問題集を購入して演習をする→薄いものでも構いません。自分の力に合ったものに挑戦しましょう。
- ・新聞を読んで感想を書く→分からない言葉を調べながら、自分が考えたことをまとめてみましょう。
- ・人物の伝記、歴史小説、歴史漫画など図書室には歴史の本がいっぱいあるので読んでみましょう。